

第19回 金沢自転車ネットワーク協議会 議事概要

日 時：平成31年3月4日（月）13：30～

場 所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事
 - (1) 今年度の取組
 - (2) 金沢の自転車施策10年誌
 - (3) 金沢自転車事故対策研究会での取組
 - (4) 今後の予定
4. 閉 会

議 事 要 旨

■これまでの取組

◎特に意見なし

■金沢の自転車施策10年誌

◎協議会の活動が続いているからこそ、行政間の横のつながりだけでなく、行政内部の縦のつながりもうまくいっているのではないかと。

■金沢自転車事故対策研究会での取組

◎自転車事故の集中発生箇所を分析しておくことは重要。交通面だけでなく、都市計画やまちづくりの視点で安全対策を検討し、この成果を地元にも返していただきたい。

【第19回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	金沢大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 名誉教授 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通部 交通企画課長 久島 泰志	代理出席 (笠師 交通調査官)
	石川県警察本部 交通部 交通規制課長 端 岩男	代理出席 (平野 規制補佐) (随行：時枝規制係長)
	金沢中警察署 交通官 畑 毅	出席
	金沢東警察署 地域交通官 金谷 悦也	代理出席 (海東 規制係長)
	金沢西警察署 地域交通官 山崎 育也	代理出席 (山崎 交通第一課長)
行政 関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 中田 光	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 中村 博昭	代理出席 (駒田 担当課長) (随行：佐野専門員)
	石川県 土木部 都市計画課長 鈴見 裕司	代理出席 (先田 技師)
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課 吉元 研司	出席 (随行：廣田係長)
	金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課長 安宅 英一	代理出席 (西 主査)
	金沢市 土木局 道路管理課長 坂本 敦志	代理出席 (木村 係長)
オブザー バー	白山市 建設部 土木課 課長 亥上 明玉	代理出席 (山岸 主幹)
	野々市市 土木部 建設課 課長 浅野 昇	代理出席 (長岡技師)
	津幡町 産業建設部 都市建設課 課長 酒井 英志	代理出席 (洞庭 係長)
	内灘町 町民福祉部 環境安全課 課長 本 郁夫	代理出席 (延命 主事)

※敬称略

議 事 概 要

○各委員、●事務局

■開会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 川原課長）

定刻となりましたので、ただいまより第19回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

私は事務局を担当しております、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課長の川原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の出席者の方々は、お手元の出席者名簿のとおりとなっております。なお、本日は協議会の視察として、松山河川国道事務所、愛媛県、松山市、愛媛県警察から10名の方々にお越しいただいていますので、あわせてご紹介させていただきます。

それでは、開会にあたりまして、高山会長よりご挨拶をお願い致します。

■会長挨拶

○金沢大学教授 高山会長

国道359号（旧国道159号）で自転車走行指導帯を整備してから10年が経ち、国・県・市・警察・地元が連携して取り組んだ成果が、今日まで続いているのではないかと感じています。この10年の成果として、今年度10年誌としてとりまとめているところです。これも、皆さんの取組が結実した成果ではないかと感じています。

今後も金沢自転車ネットワーク協議会を続けていくとともに、自転車通行空間整備を続けていくことが我々の責務だと感じています。本日はよろしくお願いいたします。

■これまでの取組

○金沢大学教授 高山会長

金沢大学前の路線において、県に自転車走行指導帯を整備いただきました。整備直後は反響も大きく、かなり学生もルールを守っていたと感じていましたが、少しルールが守られなくなったようにも感じています。最近、自転車通行状況について調査されていれば教えていただければと思います。

○石川県県央土木総合事務所 廣田係長

直近で調査したものはないが、昨年の10月1日に街頭指導を実施しており、その際にはかなりルールが守られていると感じたところです。4月には再度街頭指導を行い、今後も自転車に対してルールを周知していきたいと考えています。

■金沢の自転車施策 10 年誌

○北陸大学 三国千秋名誉教授

10 年誌の役割としては、金沢の自転車施策をただ振り返るのではなく、これから自転車施策に取り組む自治体の参考になるものをつくり、役立ててもらいたいということで作成しているところです。

○金沢大学教授 高山会長

今回の 10 年誌では、当時の行政担当者に対してインタビューを行い、当時の「考え」や「思い」について熱く語っていただいているところがポイントかと思います。

○北陸大学 三国千秋名誉教授

10 年取り組んだ中で感じていることとしては、行政の横の連携も重要ですが、行政担当者は 2～3 年で代わってしまいますので、前任者から取組をしっかり引き継いでいくことが重要だと感じています。金沢自転車ネットワーク協議会があるからこそ、行政内部の縦のつながりができ、引き継がれているのではないかと感じています。

■金沢自転車事故対策研究会での取組

○北陸大学 三国名誉教授

事故研究をはじめた背景としては、平成 28 年に金沢市内の自転車事故が増加しており、その原因を把握したいということでスタートしましたが、分析したところ、なかなか原因を明らかにすることができませんでした。事故の分析にあたっては、警察の方々から多くのデータを提供いただき、大変感謝しています。

自転車事故のポイントとしてはいくつかあると思いますが、事故が集中している箇所がありますので、この集中箇所については事故対策を実施すれば、効果が出るのではないかと感じています。

また、自転車走行指導帯を整備した路線の多くは事故が減少していますが、整備しても夜間に事故が発生していることが分かりました。

さらに、クルマの抜け道になっている場所では、クルマとクルマの事故やクルマと自転車の事故などが発生しています。クルマの通行規制をかけることはハードルが難しいため、自転車に対して路面表示などで注意喚起することが効果的ではないかと感じています。

次年度も継続して研究を続けていきたいと考えているが、毎年行う必要はなく、10 年毎などで実施することが効果的ではないかと感じています。調査し、データを作っていくことで、対策を実施できるタイミングで改善が進むのではないかと感じており、調査を実施することが改めて重要だと感じました。

○金沢大学 高山会長

平成5年頃に重大死亡事故発生箇所10箇所を取り上げ、事故対策研究会を開催したことがあります。交通安全協会から200万円の補助を受け、研究会を運営し、交通工学、都市計画、交通心理、自動車工学の専門家、県・市・警察などが連携し、事故が起こった背景を分析し、対策を講じたことを思い出しました。

今回のように、自転車事故が集中して発生している場所を分析していくことは重要だと思います。交通面だけでなく、都市計画やまちづくりの視点で安全対策を実施していくことは重要であり、この成果を是非地元にも返していただきたいと感じています。

■今後の予定

○北陸大学 三国名誉教授

今回も白山市や野々市市、内灘町、津幡町がオブザーバーとして参加いただいています。予算の制約もあり、市町だけで計画を策定する際の調査を実施することは難しいと思いますので、協議会の事務局である金沢河川国道事務所に調査協力を依頼してみることも考えられると思います。

○金沢大学 高山会長

全国の都道府県では自転車活用推進計画が検討、策定されてきていると思いますが、石川県では計画を策定する動きはあるのでしょうか。

○石川県道路整備課 駒田担当課長

石川県の自転車活用推進計画については、現在準備をしている状況であり、他の都道府県の状況を見ながら検討を進めていきたいと考えています。

○金沢大学 高山会長

いしかわ里山里海サイクリングルートは、よく検討されていると思いますが、その他の自転車の活用を推進する取組についても検討していただきたいと思います。

○石川県道路整備課 駒田担当課長

計画では、ハード面の整備だけでなく、他の部署とも連携しソフト面の検討も進めていきたいと考えています。

■閉会

○金沢河川国道事務所 山田事務所長

年度末のお忙しい中協議会にお集まりいただき、お礼を申し上げます。今年度も自転車通行空間の整備延長が2.0km増えており、これまでの活動により事故が減少し

ていることは大変すばらしいことだと思います。10年誌の作成については、他の地域に金沢の取組を知っていただくために、今年度中にとりまとめていきたいと感じています。金沢自転車事故対策研究会についても、三国先生を中心に丁寧に分析いただいております、今後のとりまとめを進めていきたいと思っています。

今後も引き続き金沢自転車ネットワーク協議会の事務局として、事務所も尽力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 川原課長）

次回の協議会は来年の7月頃を予定しています。改めて事前にご案内させていただきますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

本日はありがとうございました。

—以上—